

# 平成25年度事業報告

(平成25年4月1日から26年3月31日まで)

## ☆ 第36回「琉球新報活動賞」受賞

贈呈式：平成26年3月5日 会場：琉球新報ホール  
賞状、副賞（琉球ガラス壺、団体紹介記事のパネル）

## I 病院ボランティアに関する事業

### 1) こども医療センターにおけるボランティア活動の支援

- ① わらびの会病院ボランティアワーキング委員会開催（5回）
- ② 病院ボランティア&わらびの会病院ボランティアワーキング委員懇談会開催（7/28）  
参加者：16人（ボランティア12人、わらびの会4人）
- ③ 病院ボランティア運営委員会参加（5/17, 10/23, 3/31）
- ④ ボランティアコーディネーション力3級検定 1人合格（9/25 受験料わらびの会から支出）
- ⑤ ボランティアスキルアップ勉強会開催 12人参加（2/21）  
講師：藤村 真弓（成増高等看護学校 専任講師）
- ⑥ 第2回 全国小児病棟遊びのボランティア交流研修会 参加発表（於：愛知県）  
ボランティア2人参加（2/15～2/17）
- ⑦ 病院ボランティアコーディネーター情報交換会 1人参加（3/8 大阪）

### 2) 病児家族の支援活動をする病院ボランティア養成講座の実施

於：県立南部医療センター・こども医療センター

《第15期こども病院ボランティア養成講座》 受講生23人 日時：8月24日（土）9:00～17:00

#### ①講座1

「あなたのことも大好きです ― 病む人の家族に私たちができること ―」

講師：藤村 真弓（成増高等看護学校 専任講師）

#### ②講座2

「私たちが望むボランティア、医師の立場から」

講師：金城 僚（県立南部医療センター・こども医療センター 小児科医）



〔講座2・講師／金城 僚 医師〕

#### ③講座3

「私たちが望むボランティア、看護の立場から」

講師：石川 初見（県立南部医療センター・こども医療センター ボランティア コーディネーター）

#### ④講座4

「ボランティアに必要なマナーとコミュニケーション」 講師：喜久里 美也子（脳文庫主宰）

⑤講座5

「グループワーク&まとめ」

講師：先輩ボランティア8人、受講者全員

《第16期こども病院ボランティア養成講座》 受講生23人 日時：2月22日（土）9:00～17:00

① 講座1

「あなたのことも大好きですー病む人の家族に私たちができることー」

講師：藤村 真弓（成増高等看護学校 専任講師）

② 講座2

「私たちが望むボランティアー医師の立場から」

講師：松田 竹広（県立南部医療センター・こども医療センター 小児科医）

③講座3

「私たちが望むボランティアー看護の立場からー」

講師：石川初見（県立南部医療センター・こども医療センター ボランティア コーディネーター）

④講座4

「ボランティアに必要なマナーとコミュニケーション」 講師：喜久里 美也子（脳文庫 主宰）

⑤講座5

グループワーク&まとめ

講師：先輩ボランティア8人、受講者全員



〔講座5・グループワークのようす〕

## II 遠隔地病児家族等の宿泊施設運営事業

### 1) ファミリーハウス「がじゅまるの家」（以下ハウス）の受託運営等

① ハウスの運営-10人のスタッフによるシフト制-24時間365日稼働。

平成25年度 利用者延べ人数5,041人（病児含）。居室 稼働率 平均71.5%。

② スタッフ会議（毎月第2月曜日：全スタッフ参加）、ハウスマネージャー会議（第3木曜日）、ナイトマネージャー会議（第4水曜日）を開催。ホスピタリティーなハウス運営を目指し諸課題の検討を行った。

③ 毎月事業団へハウス事業報告書 提出（事業報告、宿泊者名簿、会計収支報告、予算請求書）

④ 第14回JHHHネットワーク会議開催に向け実行委員会を設置、全10回 開催。

⑤ ハウスワーキング委員会（わらびの会ワーキング委員、マネージャー）全4回 開催。

⑥ ハウス運営協議会 開催（県・事業団・こども医療センター・わらびの会、ハウスマネージャー 参加）（2014.2/19）。リスク管理（感染症予防）、病院との連携、多目的室の増設計画等について要望・意見交換を行った。第14回JHHHネットワーク会議 全国大会（沖縄開催）その他運営事業の報告を行った。また、事業団より平成25年度ハウス利用状況の報告がなされた。

## 2) 第14回 JHHHネットワーク会議開催

参加団体17団体、参加者96人

11月2日 こども医療センター、がじゅまるの家見学、懇親会(ホテル オーシャン、72人参加)

11月3日 第14回JHHHネットワーク会議 開催

- ・ 講演会:『行政人、医療人、県民、親の会、島民の大きな輪

～ゆいまーるで できたみんなの宿「がじゅまるの家」～』

宮城 雅也〔特定非営利活動法人 こども医療支援 わらびの会 副理事長／小児科医〕



- ・ トピックス:全国の新しいハウスの情報、小児がん拠点病院(全国15か所)の動向、ハウスを運営するために大切にしていること

- ・ 分科会:①ハウスの広報活動 ②「わが家」らしい雰囲気づくり

- ③感染症対策 ④イギリス・ドイツの「子どもホスピス」視察報告

- ⑤ハウスを運営するために大切にしていること

- ・ 全体会 :ハウス運営者として大切にしていること「ハウスゆいまーる」が提案された。

## 3) がじゅまるの家における預かり保育の実施

昨年に続き今年度も公益財団法人みらいファンド沖縄の寄付と助成のプログラム 第4期「たくす」の提案事業(寄付による支援)に申請し採択された。病児家族(母親)には、安心して看病にあたってほしい、きょうだい児も不安なくハウスで過ごせるようにと保育士による預かり保育を実施した。

「保育士さんが優しく接してくれるので安心して治療へ行けます」「きょうだいを預かって頂いたお陰で、先生ときちんとお話できました。とても助かりました。ありがとうございました」

「人見知りを心配していたのですが、保育士さん皆さんが色々と工夫して下さり、下の子ども夢中で遊んでいました。毎回本当に有難く思います」母親からのありがたい声を頂いている。

この預かり保育事業に共感、賛同いただいた方よりの寄附金が公益財団法人みらいファンド沖縄に寄せられ行う事ができた。心から感謝申し上げます。

- ・ 寄附金総額: 36,546円 6人(個人)
- ・ 実施期間: 平成25年5月～平成26年3月
- ・ 預かりきょうだい児: 7人延べ71人
- ・ 年齢: 0.5才～6才まで、平均3.2才  
(特例: 9才 脳性麻痺双子)
- ・ 預かり時間: 1人当たり2～3時間、 累計 84時間
- ・ 利用家族: 4家族(名護市、宮古島市、石垣市、与論島)
- ・ 保育士: 11人



#### 4) スタッフ研修会・講習会・勉強会

- ① 消防訓練（2回）を実施し、施設の定期自主検査を行い利用者の安全に努めた。（6/10, 1/16）
- ② 第14回JHHH(ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス)ネットワーク会議 沖縄開催(11/2-11/3) 講演会、5つの分科会に参加し研修を行った。
  - ①ハウスの広報活動 ②「わが家」らしい雰囲気づくり ③感染症対策 ④イギリス・ドイツの「子どもホスピス」視察報告 ⑤ハウスを運営するために大切にしていること
- ③ グリーフケア 「ナラティヴとグリーフ」勉強会(9/18)、スタッフ11人受講。  
講師:金城 隆展先生(琉球大学 医学部附属病院 地域医療部)
- ④ 県立南部医療センター・こども医療センター出前講座受講(於:がじゅまるの家)(3/19)  
「新しくなった心肺蘇生法～AEDにさわってみましょう～」講師:林 峰栄救急科部長  
スタッフ、利用者、わらびの会理事の13人受講。心肺蘇生の手順をAEDを使用し学んだ。
- ⑤ 防火管理者講習会受講(ナイトマネージャー2人)(2/13-2/14)

#### 5) 「がじゅまるの家」視察見学者



- ① 平成25年度地域別研修「公衆衛生活動による母子保健強化(中南米地域)(A)」コース研修員のハウス見学と説明(研修員11名、引率2名)(6/27)
- ② NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会理事長大棟耕介氏 ハウス来訪(8/3)  
(病児・家族へ風船 パフォーマンス)
- ③ 沖縄県かりゆし長寿大学校30人、2クラスハウス視察見学(9/10, 9/12)
- ④ 第14回JHHH ネットワーク会議参加者ハウス見学(44人)(11/2)
- ⑤ 那覇市民生委員児童委員連合会 「がじゅまるの家」施設見学(25人)(11/18)
- ⑥ 中城村母子保健推進員「がじゅまるの家」視察研修(20人)(11/28)
- ⑦ 県福祉保健部長、医務課長ハウス見学(1/7)
- ⑧ 県薬剤師会薬局長(城間盛光氏)、係長(大城喜仁氏)ハウス見学(1/23)
- ⑨ 県病院事業局県立病院課ハウス見学(1/24)
- ⑩ その他、個人多数

#### 6) 利用者との交流

- ① わらびの会合同クリスマス会をこども医療センターにて開催(12/14)、ハウス利用者も家族で参加した。在沖米空軍嘉手納基地、難病のこども支援全国ネットワークより子どもたちへのプレゼントを沢山頂く。恒例のがじゅまるの家クリスマス会(12/23)は、スタッフの手作り料理に舌鼓とプレゼント交換を楽しんだ。
- ② わらびの会新年会(1/9)において、利用者も参加いただき、わらびの会理事、ハウススタッフともに交流を深めた。

## 7) ボランティアによる活動

- ① 普天間基地内教会(海兵隊24人)「がじゅまるの家」にて清掃ボランティア活動(4/20、10/12)
- ② 沖縄電力新入社員(30人)「がじゅまるの家」ボランティア オリエンテーション実施(5/23、6/8、6/9、6/15)
- ③ 第36回おきでん対話旬間による、がじゅまるの家ボランティア作業(沖縄電力職員38人)(10/26)
- ④ ガールスカウト日本連盟沖縄支部与那原25団「がじゅまるの家」屋外清掃ボランティア(11/23)
- ⑤ 県立看護大学生ゼミナールⅡ実習及びボランティア活動(於:がじゅまるの家)(1/10)

＊ 毎週木曜日10時～12時 手づくりボランティアフルール活動

＊ 毎週火曜日10時～12時、金曜日 17時～18時 ボランティア活動

## Ⅲ 広報事業

- 1) 会誌「わらびの会だより8号」および「がじゅまるの家だより9号・10号」を発行して広報に努めた。会員、一般市民、医療関係者、各市町村、鹿児島県本島及び奄美大島・徳之島・沖永良部島・与論島の関係部署へ送付した。
- 2) マスコミをとおしてわらびの会活動及び「がじゅまるの家」の広報を行った。
- 3) わらびの会広報委員によるホームページの更新、インターネット上に会活動を掲載し、当会活動の広報を行った。
- 4) 第19回幸せの黄色いレシートキャンペーン交流会及び贈呈式に参加、広報活動を行った。
- 6) タイフーン f m 出演し広報活動を行った。
- 7) RBC(琉球放送テレビ)病院ボランティア・「がじゅまるの家」取材、放映(3/22、3/29)

## Ⅳ その他、目的を達成するために必要な事業

- 1) こども医療支援ピアサポート活動実施 7/25 から開始

活動日:毎月第2・4木曜日 午前9時～12時、午後1時～3時

場 所:こども医療センター1階小児外来 入口カウンター

活動団体:9団体 相談件数:23件



[ピアサポート 受付]

- 2) こども医療支援ピアサポートセミナー開催(19人受講)

日時:平成26年3月8日(土)9:00～17:00

会場:県南部医療センター・こども医療センター2階会議室

講師:小林 信秋(難病のこども支援全国ネットワーク会長)

難病ネットとピアサポート活動への理解を深める / ピアサポーターの心構え

講師:田中 千鶴子(昭和大学保健医療学部看護学科教授)

難病や障がいのある子と家族の理解と支援

講師:諏訪 茂樹(東京女子医科大学看護学部准教授)

相互支援のためのコミュニケーションスキル1・2



### 3) わらびの会合同クリスマス会開催



日時：平成 25 年 12 月 14 日（土）14：00～17：00

場所：県立南部医療センター・こども医療センター 1 階小児外来

参加者：188 人（こども 78 人、大人 110 人）、メディア 4 社（9 人）

協力（ボランティア）：沖縄国際大学・沖縄キリスト教大学・県立看護大学の学生、病院ボランティア、在沖米空軍嘉手納基地の兵隊及び職員の皆さん

プレゼント提供：難病のこども支援全国ネットワーク、在沖米空軍嘉手納基地

おもちゃブース、てづくりブースは「こどもが主役」、ゆんたくカフェ、アロマブースはいつも看病しているお母さんたちへリラックスできる時間を提供出来たクリスマス会でした。

たくさんの支援と協力をいただきました。感謝申し上げます。

- 寄付（115 件）、寄贈（179 件）、多くのボランティアのご支援ご協力をいただいた。感謝申し上げます。

### ★ ファミリーハウス「がじゅまるの家」利用者の声

（利用者ノートより 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）

- \* 2月中旬に娘が入院して初めての外泊となり、2ヶ月半ぶりに家族が揃い寝食を共にしました。あたりまえのように家族が揃い過ごすということが、今の私たちはどこへ出掛けるよりも嬉しく何気ないこと笑えることがなんて幸せなんだろうと今、日々感じています。抗がん剤治療がクールごとに落ち着くとまた外泊できるかもしれません。その時はまたよろしくお願いします。 名護市 Mさん
- \* 遠方から来ると一番大変なのが、宿泊の件です。病院、交通費の事等も考えると途方に暮れる訳ですが今の時代こんなに有り難い施設があるなんて感謝以外の言葉がみつかりません。安心して病気が治せる専念できる環境を整えて頂き、また、皆さま皆優しくて頼りになり、今回更に、孫の体調不良もあり良いクリニックも紹介して頂き助かりました。知らない土地で安心して医療が受けられる支援をして下さり有難うございました。どうぞお体ご自愛頂きつつ今後共よろしくお願いします。 鹿児島県与論町 Fさん
- \* お腹の子に異常がみられるということで出産予定 10 日前に宮古島から来ました。一泊入院して、通院に変わるようになって、不安でいっぱいでしたが、がじゅまるの家のスタッフさんの優しい対応と笑顔で安心しました。部屋もきれいだし、いろんな設備が使いやすく置いてあったりして、とても有り難いです。 宮古島市 Kさん
- \* 久しぶりの「がじゅまるの家」での宿泊！！。久しぶりに来て、スタッフのやさしい笑顔に癒されます。ここに

来ると娘が苦しい時のコトを思い出すが、今では、すっかり元気になり、うれしいデス。スタッフの皆さんに、娘の誕生日を覚えててもらい、今日はプレゼントをいただき、ありがとうございました。(ボランティアの皆さんにもお礼申し上げます。)

宮古島市 Tさん

\* 息子の三角頭蓋の手術のため、手術前、手術中、術後、、、と4回に渡ってお世話になりました。特に午前中は、祖母達もお世話になり、息子といっしょに病院に寝泊まりしていた私(母)は、気持ちの面でも、とても支えられました。ありがとうございました。

埼玉県 Sさん

\* 半年ぶりの息子の検診でした。おかげ様で次の検診は1年後となりました。いつも船旅の疲れをゆっくりと癒して頂いて本島に感謝の気持ちでいっぱいです。沖縄に通うようになり早や3年、生まれたばかりのRももう3歳です。今では、がじゅまるの家のみなさんとおしゃべりをしたり走り回る姿に成長を感じています。幸せなことに今のところ「上等」な状態なので嬉しく思います。最初は、毎月来沖していたなあと思うと、どんなにしんどくても「がじゅまるの家」まで行けば ホッとできる自分がいたなあ〜と思います。いつまでも皆の帰れる場所であります様に……。本当にありがとうございました。

奄美大島 Mさん

\* いつも気にかけて頂きありがとうございます。今回も治療入院のため1週間利用させて頂きました。大学病院までの道のりはバスで約1時間かかりますがここに帰ってくると我が家に帰ってきた気がしてゆっくりと体を休める事ができます。また次回もぜひ利用したいと思っております。その際はよろしく  
お願い致します。

石垣島 Tさん

\* 今回はじめてガジュマルの家に来ました。部屋や食堂などがとてもきれいでいごちがよかったです。冷凍庫のいなりずしをもらいましたがとても美味しかったです。スタッフさんたちも声をかけてくれてうれしかったです。3日間お世話になりました。

福岡県 Mさん

\* 悩みの場所であり、人と人とのふれ合い出会いの場所であり、情報の場であって安心出来る場所(気持ちの切り替えの場所です)この場所がいつまでも、そんないます様・・・に！ 1月生まれ2月からこのがじゅまるの家を利用して頂きたくさんの人と出会い情報を得て心のゆとり、安心、自身がついてきて帰宅する際には寂しささえ感じる様になっています。次回は12月に利用となりますがよろしくお願ひします。

宮古島 Nさん

\* 今回はじめてガジュマルの家を利用して頂きました。ありがとうございました。娘の検査の為、頭の中がパニック状態のまま沖縄まで来て今月まで緊張でいっぱいだった無事に検査も終わり思ったより良い状況で帰島できることをありがたく思います。予約時から丁寧な対応をして頂き部屋が空いた際も連絡してくださりありがとうございます。14年前に県立那覇病院で未熟

児で産まれた娘、あの時はこのような施設もなくウィークリーマンションに一人で一か月もすごしたことを覚えています NICU のスタッフの方が支えてくださいましたが、今こういう場所があり温かく声をかけてくださる方々がいらっしゃることを本当にうれしく、心強く思います。そしてかつての私のように心細い状態で不安を感じるママたちも、ゆっくりすごしてまた明日すてきな笑顔でいてくださったらと願います。本当にありがとうございます。スタッフの方々、お体を大切にされてすてきな笑顔をいつまでも見せてください。

沖永良部 Iさん

\* 今回息子の手術をするに辺りこちらを利用させて頂きました。息子の手術は見守ることしか出来ませんでした。がじゅまるさんの支援もあり病床で支えている妻のバックアップは十分にあげられたと思います。私共のような遠方から来る人たちには長期滞在は本来すごく難しくお金がかかる事です。それを何ら感じさせずこの数日過ごせた事を感謝しています。本当にありがとうございました。数ヶ月後はまた妻と息子がお世話になるとは思いますがその時はよろしくお願ひ致します。

和歌山県 Hさん

\* 娘が産まれ次の日に病気が見つかりました。はじめは自分(私)のせいでこの子が・・・と思い自分を責めていました。病院では幼い子たちが親たちが病気を治すため一生懸命前向きに頑張っています。またこのように素晴らしい“がじゅまるの家”スタッフさんとも出会い私は今、娘の病気を受け止め前向きに考える事が出来るようになりました。病気の事や子育ての相談に乗って下さりありがとうございます。今後も宜しくお願いします。

名護市 Kさん

\* 娘の肺気胸の為、沖縄に来ました。こども病院の方から“がじゅまるの家”の事を聞き、病院とも近く設備が整っていて、離島から来た私達はすごく助かりました！！何よりもスタッフの方々の優しさ、心遣いがすごく嬉しかったです。病院から帰ってきて、スタッフの方からクリスマスプレゼントを頂きました。ほんとうに嬉しく、ありがたい気持ちでいっぱいです。娘が元気になり一安心です。明日は徳之島に帰ります。がじゅまるの家のことは忘れません。本当にありがとうございました。

鹿児島県徳之島 Tさん

\* 沖縄に来るのは初めてです。こんな形になろうとは思いませんでした・・・。孫と娘と三人で利用させて頂きましたが遠くからの私達にとってはこのような施設がある病院はとてありがたいですね。検査の結果、やはり手術になるでしょう。またその時はよろしくお願ひします。

香川県 Oさん

\* 息子、娘のけいれん発作が落ち着いたので、次回は半年後の夏休み頃利用する予定です。こんなに間があくのは初めてです。調子が良くなり嬉しいですが、「がじゅまるの家」に来られなくなるのは淋しいです。また成長した姿を見せに来ますね。お世話になりました。ありがとうございました。

鹿児島県与論島 Yさん



